

特定非営利活動法人

北九州ビオトープ・ネットワーク研究会

団体概要

ますます深刻となる環境問題の改善は急務であり、この対策にはもはや学術レベルのみでは解決できず、環境団体・大学・企業・行政に市民をも巻き込んだ産学官民による、地道な取り組みを推進する必要があります。2001年7月、北九州市若松区において、都市計画・生態系・化学・エネルギーなど環境に関連する様々な分野で活動する大学教員・民間企業有識者、行政技術職員が中心となり、市民・学生を加えた研究会を発足させました。豊かな自然環境を保全するために、自然と人間が共存できるビオトープの考え方を基本とし、ビオトープの保全、創出、また、これらをネットワークするために市民参加型の環境保全活動の開催および研究・調査等を行い、それらを発信していくことによって、ビオトープ・ネットワークの構築およびネイチャーポジティブを推進することを目的としています。2003年6月には、活動を発展させるため、特定非営利活動法人化しました。

活動概要

北九州市若松区は、都市の中にありながら、北に玄海国立公園のある響灘、南に公害を克服した洞海湾、東に東部市街地、中央に高塔山から石峰山に連なる山系、西に一級河川遠賀川、西部市街地があり、北九州学術研究都市、エコタウンや次世代エネルギーパークなど、市の主要事業も配され、都市と自然の緩衝地帯のようにまだ多くの自然環境を残し、国内最大級のビオトープである響灘ビオトープもあります。この若松区の山（高塔・石峰山系）、川（江川流域）、海（洞海湾、響灘）、里地（市街地、農村、学研都市）を一体でまちづくりの資源・財産として捉え、市民・市民団体・企業・行政など多様な主体が協働し、参加できる環境および景観保全事業の定期的かつ継続的な開催を通じて地域の環境向上とともに“人と自然が織りなす生活景観”の創造を目指し取り組んでいます。

受賞等

H20年度地域づくり総務大臣表彰、H21年度環境大臣表彰・地域環境保全功労者賞、H22年度3R推進功労者等表彰 環境大臣賞、H20年度環境に優しい若松まちづくり表彰区長特別賞、H20年度福岡県環境保全功労者知事表彰、第2回北九州市環境賞奨励賞、JIA ゴールデンキューブ賞 2013/2014、H28年度福岡県緑化功労者賞県知事賞、景観整備機構(福岡県) 第1回環境首都北九州SDGsアワード ESD 表彰優秀賞、景観整備機構(福岡県)他



facebook



X

～ 地域が魅力のまちづくり ～

活動紹介

竹林・里山のがっこう



竹林の間伐による竹林保全とその利活用
(平成竹取伝説＝原則毎月第二土曜)

まちづくりのがっこう



地域の公園、健康など生活に密着するテーマによるまちづくり
@北九州、スラバヤ他(不定期)

水辺のがっこう



市民に愛される水辺空間の創造
(2～3回/年、不定期)

特定非営利活動法人
北九州ビオトープ・ネットワーク研究会
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1-1
北九州市立大学 国際環境工学部内
理事長 デワンカー バート
tel/ 093(695)3245 mail/ bart@kitakyu-u.ac.jp
事務局長 安枝 裕司
tel/ 090(1870)3299 mail/ yasueda@gmail.com